

いなみ町

議会だより

No.91
2021.10

令和3年 第3回定例会

- 議案審議 ……P2～P4 一般質問(6名が登壇)…P6～P11
議員紹介 ……P5 議会構成 ……P12

議案審議

9月定例議会が9月9日に開会し、15日に閉会しました。

町長から上程されたのは、次のとおりです。

・議案

13件

・報告

1件

・令和2年度決算認定

8件

決算認定8件については、決算審査特別委員会を設置し、これに付託することを決定しました。

それ以外の議案等についても慎重に審議した結果、すべて原案どおり可決・同意しました。

役員改選について

今回の改選で、議長に堀口議員、副議長に前田議員が就任しました。

委員会、一部事務組合議員は、12ページのとおり決定しました。



副議長 前田憲男



議長 堀口晴生

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

総務産建常任委員長より、発議がありました。地方自治体は、新型コロナウイルス感染症対策、社会保障等への対応に迫

られており、地方税財源の充実が不可欠です。

令和4年度地方財政対策及び地方税改正を国に強く要望する意見書の提出について、討論し、可決しました。

工事請負契約

質疑 切目橋架替に伴う撤去工事を令和3年、4年で行い、架替が終わりを、完成するのが令和7年度末のことですが、一時的に橋がなくなれば住民の生活に影響が出ると思うが、撤去するにあたり意見等は聞いていますか。

答弁 建設課長

地元の住民は、耐震性がない、危険な橋という認識を持っており、一刻も早く架替が必要という声を聞いています。

国道の歩道橋が迂回路として完成しているのでそちらを利用していたきたい。

令和3年度 印南町一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対策第7弾として、新型コロナウイルス抗原検査キット購入費、事業所支援として印南3店舗スタンプラリー事業支援補助金、小中学校の修学旅行補助金（コロナ対策）等に関する補正です。

印南3店舗スタンプラリー事業

質疑 従来、年末に商工会が行っている事業との違いはどのようなところですか。

答弁 企画産業課長

従来ものより、商品の内容を充実させます。また、当たりの本数を増やします。



新型コロナウイルス抗原検査キット購入費

質疑 目的及び購入個数と有効期限はどうなっていますか。

答弁 住民福祉課長

こども、保護者への新型コロナウイルス感染症を防止するのが目的で、学校等の保健室等に保管しておきます。

小学4年生以上を対象とした鼻腔拭拭式は1,000回分、小学3年生以下を対象にした唾液式1,500回分を購入、有効期限は24カ月です。

修学旅行補助金 (コロナ対策)

質疑 この補助金の詳細を説明してください。

答弁 教育課長

新型コロナウイルス感染症防止対策として、3密を回避するために、次のことを行います。
①従来は中型バスだったものを

大型バスに変更します
②1台だったものを2台に増やし、3密を回避します。

③宿泊施設での1室の人数を5人から3人に変更する追加費用です。

切目小学校屋内運動場 空調設備設置工事

質疑 学校の体育館の空調設備設置ということで、学校の授業等に影響はないのですか。

答弁 教育課長

工事が開始されれば、体育館の使用は禁止になりますが、なるべく影響のないスケジュールに調整していきたいと考えています。

質疑 今回は切目小学校体育館の空調設備ということで、今後は、他の3小学校も設置する予定ですか。

答弁 教育課長

今回は、災害発生時の避難所の機能の充実・強化及び安全・

安心で快適な教育環境づくりへの取り組みを目的として、屋内運動場への空調設備の整備を行うもので、他の3小学校につきましては今後の検討課題であります。

体育施設修繕費

質疑 詳細を説明してください。

答弁 教育課長

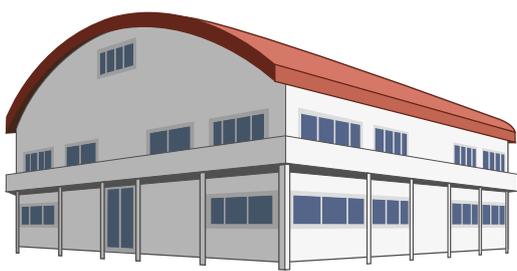
体育センターロビーの段差を解消し、バリアフリー化を行います。また、稲原中学校のグラウンドの夜間照明も改修します。

印南町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の制定

質疑 令和3年3月31日に既に失効しており、今回再び策定することですが、この空白期間による不利益を被ることはないのですか。

答弁 税務課長

固定資産税は1月1日が賦課期日となります。来年の1月1日時点での所有に對しての課税となりますので不利益はありません。これまでのものについても、経過措置で対応できるので、問題ありません。



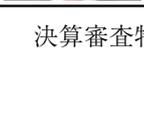
議案に対する各議員の賛否

○= 賛成 ×= 反対

種類	議案番号	議案内容	黒井	木村	岡本	谷	中島	片山	古川	杉谷	玉置	榎本	前田	堀口
条例	51	印南町個人情報保護条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	52	印南町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	53	印南町手数料徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	56	令和3年度印南町一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	57	令和3年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	58	令和3年度印南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	59	令和3年度印南町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	60	令和3年度印南町水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
契約	55	工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人事	61	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	62	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	63	監査委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—
その他	54	印南町過疎地域持続的発展計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※議長は裁決に加わりません ※人事議案については、本人は裁決に加わりません

印南町議員一覧

顔写真	議席番号	氏名	所属	議員歴	役職
	1	くろい みはる 黒井 美晴	無所属	1期目	・文教厚生常任委員会 委員 ・議会広報特別委員会 委員
	2	きむら えいいち 木村 栄一	無所属	2期目	・議会運営委員会 委員 ・総務産建常任委員会 委員長 ・御坊市外五ヶ町病院経営事務組合 議員
	3	おかもと しょうぞう 岡本 庄三	無所属	4期目	・議会運営委員会 副委員長 ・総務産建 常任委員会 副委員長 ・決算審査特別委員会 副委員長
	4	たに しょうじ 谷 章資	無所属	1期目	・総務産建常任委員会 委員 ・議会広報特別委員会 委員
	5	なかしま ひろし 中島 洋	無所属	3期目	・議会運営委員会 委員 ・文教厚生 常任委員会 委員長 ・議会広報特別委員会 副委員長 ・日高広域消防事務組合 議員
	6	かたやま ともふみ 片山 智文	無所属	1期目	・総務産建 常任委員会 委員 ・議会広報特別委員会 委員
	7	ふるかわ まこと 古川 眞	無所属	2期目	・文教厚生常任委員会 委員 ・議会広報特別委員会 委員
	8	すぎたに たかよし 杉谷 考祥	無所属	4期目	・文教厚生常任委員会 副委員長 ・御坊広域行政事務組合 議員 ・監査委員
	9	たまき かつひこ 玉置 克彦	無所属	4期目	・議会運営委員会 委員 ・総務産建 常任委員会 委員 ・御坊日高老人福祉施設事務組合 議員
	10	えのもと いっぺい 榎本 一平	共産党	6期目	・議会運営委員会 委員長 ・文教厚生常任委員会 委員 ・決算審査 特別委員会 委員長
	11	まえだ のりお 前田 憲男	無所属	3期目	・副議長 ・文教厚生常任 委員会 委員 ・議会広報特別委員会 委員長
	12	ほりぐち はるお 堀口 晴生	無所属	7期目	・議長 ・総務産建常任委員会 委員 ・和歌山県後期高齢者医療広域連合 議員

決算審査特別委員会は、監査委員を除くすべての議員により構成します。上の表には委員長と副委員長のみ記載しています。



ここが聞きたい!

玉置 克彦 議員

護岸整備について

質問

切目川流域では、昔は暴れ川とも言われ、過去幾度となく大水害に見舞われてきました。暮らしを守る切目川ダムも完成し、河川改修も着々と進んでいます。河川改修が進む事によって、下流域の影響が懸念され、以前の流れより速さが1.5倍から2倍になっているのが現実です。5m以上あった護岸が今2m、これによってますます護岸が削られ、護岸堤防が決壊する恐れがあり、民家への影響が懸念されます。管理者は県ですが、護岸整備について強く要望していただきたいと思いますが、いかがですか。

答弁

建設課長

ご指摘の下流域、特に右岸側の護岸が洗掘されている状況は、地元の要望もあることから、今後河川改修事業の推進を図っていくとともに、下流域の護岸整備についても強く要望し

ていきたいと考えています。

質問

浜の切れる位置がだんだんと元村側に移動しているのが事実です。従来の箇所が切れるようにしてもらいたい。このことについても県に要望していただきたいと思いますが、いかがですか。

答弁

建設課長

浜の切れる位置については、国道の下流部、その河川内に堆積している土砂の影響、これが非常に大きいと考えます。この部分を以前の状態に戻していくと従来どおりの箇所で切れるような状態になるのではないかと考えています。このことについても、管理者である県に対して浚渫等の要望をしていきたいと考えています。

町有地の有効活用について!

質問

人口減少対策として、未来に向けた先行投資を行い、住

宅地整備を加速化しますと町長の公約にもありますが、現在、未来投資事業や若者定住施策など、いろんな政策を展開していただいているのは、理解しますが、人口減少に歯止めがかからないのが現実です。そこで、町内には、閉校した学校跡地など、活用されていない町有地が多いことから、町有地の有効活用も含めた取組をしてはいかがですか。

答弁

企画産業課長

町が宅地造成事業を行うという事については、ゼロではありませんが、現在は、住民のニーズに添えていくという取組を加速化させておるといことで理解していただきたいと思います。旧学校跡地の利用については、若者たち等の住宅整備の受け皿になり得ないか、やはり住民のニーズといったことが、ど



切目川下流域

のような声につながっていくのかということが非常に大切で、真妻地区、切目川地区、稲原地区こういったところで、学校跡地に宅地を設けたときに、住民の声も研究課題として今後、取り組んでいきたいと思っています。

ここが聞きたい!



古川 眞 議員

河川監視カメラ について

質問 8月の豪雨時に河川監視カメラを確認するとカメラの焦点がカメラについての雨粒ではなく河川に合っていました。何か対策されましたか。

答弁 建設課長

切目社会教育センター屋上に設置しているカメラは、8月の豪雨時は、少し下流を監視するように調整しました。

この調整で、焦点が河川に合っていたのだと思います。

質問 雨粒がついているところの画像は見えませんかので雨粒がレンズにつかない工夫が必要だと思いますがいかがですか。

答弁 建設課長

少し時間を要すると思いますが、検討していきたいと考えています。

町道の草刈り について

質問 業者が町道の草刈りをしているところをよく見かけましたが、この事業は毎年継続されますか。

答弁 建設課長

町道の草刈りや伐採は、町道の管理として、交通の安全を確保するために、毎年、主要な町道で、必要なエリアを選定し業者に発注しています。

今年度は13路線で、草刈り約11キロ、伐採約1・6キロを実施しました。

通行の障害になる草や雑木の除去は、交通の安全性を確保するために必要と考えています。

よって、必要な路線については、来年以降も草刈りを継続していきたいと考えています。

質問

古屋からみなべ町に通じるフルーツラインは必要と思われる路線に入っていますか。

答弁 建設課長

フルーツラインは主要な地域を結ぶ町道であり1級の町道に認定されています。

ただ、この路線も、毎年発注前に草刈りが必要かどうかを確認しています。

状況を見ながら決定したいと考えています。

オンライン授業 について

質問 印南町議会議員一般選挙の開票時に一時ネットの接続ができなくなりました。

これでは小・中学校のオンライン授業で接続が集中するとネットに接続できなくなるとは思っています。

印南町では

問題なくオンライン授業が行えることを

確認できていますか。

答弁 教育長

万が一学校閉鎖、臨時休校となっても、学びを止めないという考えで、全ての学校で家に教育用端末を持ち帰り、一斉に接続しました。

少しのタイムラグはありましたが、通信は問題はありませんでした。

ただ、指導者の声の大きさ、スピード、黒板の文字の大きさ、色とかを対面授業により近づけるために、さらなる改善は必要と思っています。





ここが聞きたい!

前田 憲男 議員

通学路の安全 について

質問 6月末に千葉県で下校途中の小学生の列に飲酒運転のトラックが突っ込み、5人が死傷するという痛ましい事故がありました。

その場所は、歩道がなく、PTAからガードレール設置の要望があったということでした。清流校区の一部歩道がない部分については、学校後援会から歩道設置の要望があったと思いますが、その後の進捗は、どのようになっていますか。

答弁 建設課長

すでに7月に用地の交渉が終了し、測量設計も終了しています。

9月中には、工事請負契約を締結できる見込みとなっています。

これによって歩道未整備の220メートルの区間は、今年度中の完成を目指します。

少量のガソリン の購入について

質問 中山間部では、給油所の減少によって草刈り機等の小型農機や原付バイクの燃料など、少量のガソリンの購入に大変不便な思いをしています。

この先自動車のEV化もますます進み更なる給油所の減少も考えられます。給油所から遠い地域での燃料の購入に関して行政が手助けできることは、ないのでしょうか。

答弁 企画産業課長

行政と地域が一体となって生活必需品の確保に取り組んだ事例として奥真妻活々倶楽部があります。

奥真妻活々倶楽部では、閉店した店舗を改修し、燃料を含む生活必需品の販売などを地域住民の協力により行い、集落の維持継続に、取り組んでいます。

このような事例により支援できるかと考えています。

質問 今後、自動車や農機具建設機械などがどんどん電動化されてきます。充電式の草刈り機等の購入に対する補助は、考えられませんか。

答弁 企画産業課長

脱炭素化に伴い農林水産省からも小型農機等の電動化開発の支援をしていくということがうたわれております。

今後このような国の施策のもと、考えなければならぬと感じています。

避難所について

質問 台風シーズンとなって

きましたが、以前の台風では、川又地区の高齢の方が20キロ先の切目川防災センターや稲原防災センターへと避難しております。

もう少し近

くで安全に避難できるところは、考えられないのでしょうか。また、避難指示が出た時、各地域の避難所が放送されていますが、真妻地域にはありません。

旧真妻保育園等に発電機などを設置して、避難所とすることはできませんか。

答弁 総務課長

ハザードマップによると、田ノ垣内の旧保育園ですと、地滑りの警戒区域に少しかかりますが、備蓄食糧や衛星電話を完備しています。今後検討を重ねていきたいと考えます。



ここが聞きたい!



岡本 庄三 議員

先に地方紙で報道されていた印南漁港「町づくり協定」について

質問 この協定は「株式会社

和み(なごみ)」、「地元漁協」そして「印南町」の三者が協定したもので印南漁港の漁港資源を活用した「まちづくり協定」ということですが、行政機関である印南町はこの協定において具体的にどのような役割がありますか。

答弁 企画産業課

秩序ある漁港利用の確立のために、「漁協」、「株式会社和み」との調整を行います。

質問 課長は先の議会において、私の質問した町の立場での関与という表現を否定し、あえて支援サポートをすると答弁されました。

印南漁港は「印南町漁港管理条例」に基づき町が主体的に管理する。その財産に及ぶ使用許可等手続については行政事務としておこなう。これを関与とい

います。

役場が所管する法律事務に対して事業者と協議を進めることをサポート支援とは言いませ

ん。
行政が株式会社等「特定の事業者が実施するクラウドファンディング事業」を支援・サポートすることに法律上問題はないのですか。行政の判断についてお聞かせください。

私は、この事業は疲弊する印南町の漁業だけでなく町産業の多くの分野での可能性を引き出せる素晴らしい事業と思えます。課長のおっしゃった「支援・サポート」が法律上問題がなければ、どうでしょう、支援サポートするためにクラウドファンディング事業に関連する補助金制度を導入されてはどうですか。

答弁 企画産業課

特段問題がないという認識で

す。

連携協定の中で、いわゆる補助金を交付して連携包括強化を行うというような考えはにじましていません。

質問 資金調達のため自治体が直接クラウドファンディングを活用する場合やクラウドファンディングを活用し資金調達を行う事業者等に対しその経費の一部を助成する自治体があることは承知しています。

今回の協定の締結に際し印南町の産業振興対策の先進的な取り組みとして、クラウドファンディングを活用する事業者への支援・サポートとしての補助金制度の創設や新たな起業家に対し町有財産

の利用の幅を広げるための制度を設けるなど、他の自治体で事例の無い印南町独自の「支援サポート」を実施してはどうでしょうか。

答弁 企画産業課

行政も包括的連携事項を担保として連携していきたいと、このように考えています。



印南漁港管理地 (中央)



ここが聞きたい!

木村 栄一 議員

新規就農者等 について

質問 2020年全国の新規就農者数は、5年連続の減少です。

そこで印南町として新規就農を促す施策としてどのようなことをされてきたのか。また、今後の対策をお聞かせください。

答弁 企画産業課長

経営体育成支援事業や農業次世代人材投資資金等の各種補助事業の活用、農地バンクによる農地のあっせんを行っています。

今年度からは日高地域新規就農者育成協議会と連携し、地域農業の担い手となるよう支援します。

また、新たな就農希望者を対象に就農相談や各種研修等を実施しています。

質問 農地購入の許可条件30aはいつどのような理由で決まりましたか。

答弁 企画産業課長

平成21年の農地法改正により、地域の実態に応じて決めたもので、平成22年4月から適用しています。当町の農業の特徴はハウス栽培の施設型、30aから40aで経営が成り立つ規模であることからです。

木の枝等による 通行の障害になる 場合の対応に ついて

質問 遊休農地等を増やさないためにも、この規定を見直すつもりはありませんか。

答弁 企画産業課長

遊休農地対策と下限面積を下げるのが有効なことなのかは今後農業委員会等で議論していただきたいです。

質問 別荘地や空き家の庭木が通行の障害になる場合、当町の対応をお聞かせください。

答弁 建設課長

管理物となる樹木の伐採は所有者が行うものであり、所有者以外伐採はできませんので、声をかけ適切な管理を行っていただくことです。ただ、台風等で緊急に通行を確保する必要がある場合は例外です。

質問 今後この種の問題が増えることが予想されます。町外の土地所有者に、定期的に通知し管理を促す取組が必要と思われ

ますが、いかがですか。

答弁 建設課長

定期的に通知をするということとは今の職員体制では難しいと考えます。

質問 全体が無理であるならばロック単位でやっていく方法もあると思います。その案内にシルバー人材センターや森林組合の連絡先をいれるとか、土地所有者に啓発していくのも大切な取組ではないのですか。

答弁 建設課長

空き家対策も含め、大きな枠組みの中で組織的な対応を総合的にしていくことが必要かと思えます。





土砂災害から町民の命と財産を守る対策を

質問 土砂災害については「地域防災計画」で3点強調されています。町が作成した第6次長期総合計画では町の課題として津波と地震対策に加え集中豪雨など自然災害への対応が強調され、町では土砂災害のハザードマップを作成していますが、このハザードマップを活用した地域の方々が参加しての訓練などの取り組みはどのようなようになっていきますか。

答弁 総務課長

洪水・土砂災害ハザードマップは本年2月、全戸配布し町ホームページへの掲載、町広報などを通じお知らせしています。また、区長会、自主防犯会、各地区の防災訓練などの機会を捉え自宅の災害リスクや避難場所等を把握する事の重要性の周知を進めています。

質問 土砂災害の厄介なのは土の中が直接見えない事です。町内には県が設置した雨量計が5か所あります。災害発生時の判断に用いられるのですか。

答弁 総務課長

この雨量計により、どの程度雨が降れば土砂災害の危険度が増します、との情報がわかります。雨量情報についても県の雨量計は非常に参考になります。

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け検査強化を

質問 新型コロナウイルスの第5波が深刻です。「デルタ株」の感染拡大のもと妊婦、子ども達にも広がっています。私は8月23日、行政に対しコロナ感染拡大防止のために抗原検査も含め検査の強化を図る様、申し入れを行いました。町の対応を求めます。

答弁 教育長

8月17日、感染症対策、9月には、まん延防止として抗原簡易キット活用の推奨などの連絡がありました。25日、感染対策の対処方針とし抗原簡易キットを配布する、との連絡があり、数量はわずかですが、希望しています。子どもを守るため早期発見・早期対応できる様に更に抗原簡易キット購入を町長部局に要望し、予算を計上しています。

新規就農者の現状と町としての支援策を問う

質問 町ではハウス施設など野菜、花きなどの栽培が盛んです。御坊日高では平成29年度の新規就農者は27人となっています。直

近の状況はどうなっていますか。町の現状と新規就農者を増やしていくうえでどのような課題がありますか。

答弁 企画産業課長

御坊日高管内の新規就農者は平成30年は19名、令和元年は20名、令和2年は24名です。町では直近5年、課題としては経営開始の資金調達、農地や居住場所の確保、技術習得等、さまざまな課題が想定されます。



新しい議会構成



総務産建常任委員会(6名)



◎ 木村 栄一 ○ 岡本 庄三 玉置 克彦
谷 章資 片山 智文 堀口 晴生

文教厚生常任委員会(6名)



◎ 中島 洋 ○ 杉谷 考祥 榎本 一平
黒井 美晴 古川 眞 前田 憲男

議会運営委員会(5名)



◎ 榎本 一平 ○ 岡本 庄三 玉置 克彦
木村 栄一 中島 洋

議会広報特別委員会(6名)



◎ 前田 憲男 ○ 中島 洋 古川 眞
黒井 美晴 谷 章資 片山 智文

あしがき

今回の広報特別委員会は、過去に委員長 副委員長を経験した3名と8月の一般選挙で新しく議員となった3名の6名で構成されています。

今まで読者であった3人の意見も取り入れながら、皆さんに「わかりやすい」「見やすい」「読みやすい」議会の情報誌の編集を目指します。

(委員長 記)

一部事務組合議会議員等

御坊広域行政事務組合	杉谷 考祥
御坊市外五ヶ町病院経営事務組合	木村 栄一
日高広域消防事務組合	中島 洋
御坊日高老人福祉施設事務組合	玉置 克彦
和歌山県後期高齢者医療広域連合	堀口 晴生